

タイミング・ダイアグラム・フォーマットの国際標準 と

WaveFormer Pro

さる6月15から17日まで、米国サンフランシスコで開催された DAC '98 (Design Automation Conference) にて、SI2(Silicon Integration Initiative)により[タイミング・ダイアグラムの電子フォーマットの国際標準規格](#)として、[WaveFormer Pro](#) のフォーマットをベースにした TDML (Timing Diagram Markup Language) が発表されました。

デジタル・コンポーネントの重要な仕様を表わすタイミング・ダイアグラムのフォーマットに国際標準がないため、今まではタイミング・ダイアグラム情報を電子的に運用できず、紙のデータブック上に印刷された形で、あるいは CD-ROM やインターネット上で画像情報(JPEG, GIF, PDF など)として交換が行われていました。

しかし、システム LSI, IP, 高密度ボードの時代を迎え、今まで以上に効率のよいコンポーネント(IC, IP)のタイミング情報交換の必要が望まれるなか、タイミング・ダイアグラム・フォーマットの国際標準化は、SI2 下の [ECIX](#)(Electronic Component Information eXchange)プロジェクトにおいて、一つの重要な標準化の項目とされました。約2年がかりで、[SynaptiCAD 社](#)をはじめとする、以下のメンバー会社の協力のもとに、「電子情報としてコンピュータで」取り扱いやすく、かつ「人間の読むドキュメントとして」も十分取り扱えるフォーマットを目標に標準化の作業が進められました。

TDML 標準化メンバー会社(ABC 順)

Adobe Systems, Aspect Development, Chronology, Denali Software, Hewlett-Packard, Hitachi, IBM, Intel, Lucent Technologies, Motorola, National Semiconductor, Philips Semiconductors Intl., B.V., QuestLink Technology, SftQuad, [SynaptiCAD](#), Texas Instruments

定まったフォーマット規格は -

- ・電気的な情報は [SynaptiCAD 社の WaveFormer Pro のフォーマットを踏襲](#)
- ・文字情報などの他の文法は [XML](#)(SGML の次世代)から

となっています。

- * 上記メンバー会社の中のデバイス・ベンダーや IP ベンダーの多くは近々、コンポーネント商品のタイミング仕様を TDML で配布することを計画しています。
- * SynaptiCAD 社は [TDML ビューワ](#)をネットや雑誌の付録を通して[無償配布](#)を始めます。
- * TDML ビューワの WEB ブラウザへのプラグイン化も検討されています。

WaveFormer Pro はタイミング記述の先進ツールとして、TDML の普及推進を支えて行きます。ご期待ください。